

教科名〔理科〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
化学	3単位	3学年理系 選択者	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	化学に対する総合的理解を深める。 計算問題に対応できる能力を身につける。 実験により科学的な物の見方を養う。
使用教科書・副教材等	第一学習社『高等学校改訂新化学』『改訂版スクエア最新図説化学』 プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント				
						態度 関心・意欲	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
第1学期	物質のなりたち 1 物質とその構成要素  2 物質の構成粒子と物質質量	4 ・ 5	物質の構成成分の検出方法、その成分の最小の単位粒子・原子についての理解を深める。  物質を形作る化学結合の種類と、特徴を理解する。  原子・分子などの量の表し方を学び、計算に習熟する。	提出物、出欠、授業に取り組み態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	第1学期中間考査					
	物質の変化 1 物質の変化とエネルギー  2 酸・塩基と塩	5 ・ 6 ・ 7	化学変化を反応式として表し、それに伴うエネルギーの出入りを理解する。  酸・塩基の性質が同じ尺度で表されること、中和反応での量的関係を学び理解する。	提出物、出欠、授業に取り組み態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	第1学期期末考査					
第2学期	3 酸化還元反応  無機物質 1 非金属元素の単体と化合物  2 金属元素の単体と化合物	8 ・ 9 ・ 10	酸化還元反応の本質を学び、電池や電気分解の理解へと進む。  金属以外の単体と主な化合物について、性質や反応を学習する。  典型元素の金属・主な遷移元素の金属について、単体や化合物の特性と反応を学習する。	提出物、出欠、授業に取り組み態度等に留意する。 随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。 必要に応じプリント教材を用いる。	第2学期中間考査					

	<p>有機化合物</p> <p>1 有機化合物の特徴と分類</p> <p>2 脂肪族化合物</p>	<p>10 ・ 11 ・ 12</p>	<p>有機化合物の特性を学び、さらにその化学式の決め方を学習する。</p> <p>脂肪族化合物の特性や反応について、食酢やセッケンなど生活に関係深い物質を中心に学ぶ。</p>	<p>提出物，出欠，授業に取り組み態度等に留意する。</p> <p>随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。</p> <p>必要に応じプリント教材を用いる。</p>	<p>第2学期期末考査</p>				
<p>第3学期</p>	<p>3 芳香族化合物</p>	<p>1 ・ 2 ・ 3</p>	<p>芳香族化合物の特性や反応について、脂肪族化合物の比較をしながら学習する。</p>	<p>提出物，出欠，授業に取り組み態度等に留意する。</p> <p>随時図説を使用し、視覚的な面から理解を深める。</p> <p>必要に応じプリント教材を用いる。</p>	<p>学年末考査</p>				
<p>【1・2・3学期における課題・提出物等】</p> <p>授業中に配布するプリント 実験のレポート 長期休業中の課題 など</p>									
<p>【1・2・3学期における評価方法】</p> <p>考査評価 宿題 配布プリント等の提出物評価</p> <p>出欠，授業に取り組み態度の評価</p>									